

2024年10月31日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

当組合は、

「JA上伊那ビジョン」
わたしたちJA上伊那は、農を基盤に助け合い、
ともに喜びを分かち合える地域社会をめざします。
「合い言葉」～ みんなのために あなたといっしょに～

をJA上伊那ビジョンとして掲げ、地域に根ざした協同組合として、組合員、地域利用者に信頼され、貢献できるJAバンクを目指してまいります。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

上伊那農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3)】

- 《商品ラインナップの考え方》①将来の備えに向けて「長期投資」を前提とした投資信託であること。②手数料が良心的な水準であること。③過去の運用実績が相対的に良好であること。④これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向け、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと。⑤運用体制について、外部機関の評価を得ていること。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客さまのニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末:1)	9 (前年度末:7)
株式型	6 (前年度末:6)	7 (前年度末:7)
REIT型	2 (前年度末:2)	3 (前年度末:3)
バランス型	8 (前年度末:8)	

<商品選定の考え方>

※商品選定の考え方:JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

1 お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

当組合は、組合員・利用者の皆さまが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう最良・最適な共済仕組み・サービスを提供します。

お客様にとっての最良・最適なサービスを提供するためには、お客様と当組合の信頼関係を築くことが第一と考え、信頼関係に基づいた各種提案を行っております。

なお、当組合は市場リスクを有する共済仕組み（外貨建て共済）の提供は実施しておりません。

I.取組状況

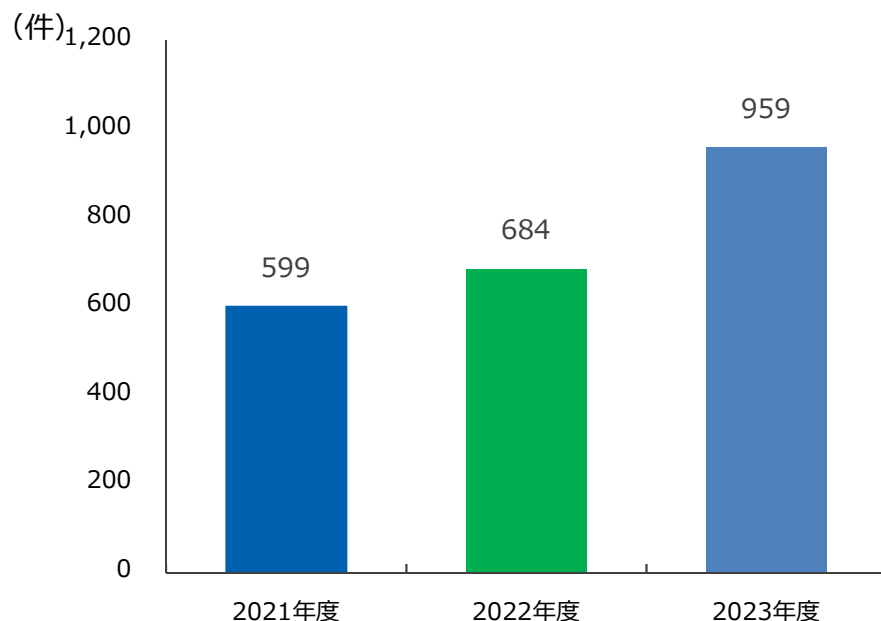
2 お客様本位の提案と情報提供

(1) 信用の事業活動

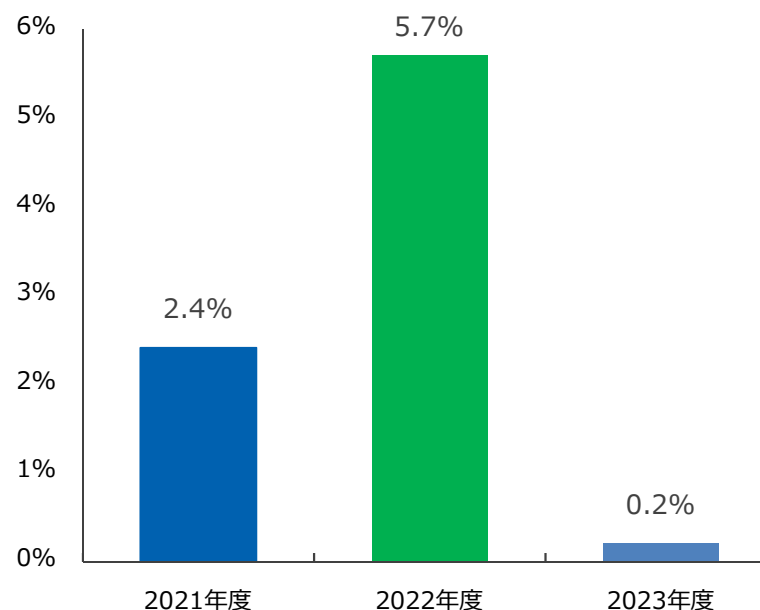
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- お客様に安定的な運用成果をご享受いただくために、お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的等を確認させていただいたうえで、お客様一人ひとりに合った説明をし、分散投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客様は増加いたしました。購入額に占める「毎月分配型ファンド」の比率は低下しました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I. 取組状況

信用の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。JAバンクセレクトファンドマップ、JAバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施します。更にご高齢のお客さまには、原則として家族等の同席を求め、商品の理解度をより十分に確認しながら説明を行うとともに、事前に審査を行うなど慎重な対応を徹底します。
- お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。また、購入後については、取引報告書等定期報告物および運用報告書等レポートにより適時適切に情報提供等のアフターフォローを実施します。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

JAバンク セレクトファンドマップ

リスク・リターン: 小 (安定型) → 大 (積極型)

資産種別: バランス, 債券, 株式, REIT

コア・サテライト戦略について

保有する資産を「コア(中核資産)」と「サテライト(衛星資産)」に分けて運用する方法

コア: 安定性の運用を目指す (日本株式投資信託、安定型の債券ファンドなど)

サテライト: 高いリターンを期待する (新興国株式投資信託、REITなど)

JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本のの中から、JAバンクが独自の基準で長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

- 1 長期投資: 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料: 手数料が優遇的な水準であること
- 3 運用実績: 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 将来性: 資産形成には、適度に分配金を出す投資信託ではないこと
- 5 運用体制: 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

「投資信託説明書(交付目録見解)」のご請求、お申し込みは

I .取組状況

(2) 共済の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

- 組合員・利用者の皆さまに対して、様々なりスクをご理解いただくため、各種公的制度等にかかる情報提供を行いながら、一人ひとりの加入目的・ライフプランなどに応じた最適な保障サービスをご案内します。
- 保障の加入にあたっては、組合員・利用者の皆さまのご意見を的確かつ正確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう分かりやすい重用事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施します。
- ご高齢の組合員・利用者の皆さまに対しては、より丁寧に分かりやすくご説明し、ご家族も含めて十分ご納得、ご満足頂けるよう提案時や契約締結時にはご家族の同席を徹底するなど、安心して頂けるような対応を行います。
- 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料などはございません。契約の中途解約などによるデメリットも考えられるため、加入手続きの際は十分ご理解頂けるように説明を行います。
- 各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまの意向をお聴きした上で、丁寧に分かりやすい説明を心がけるとともに、訪問活動や窓口での接点を通じてより安心頂けるアフターフォローを実施します。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理

- 営業部門から独立した利益相反管理統括部署を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
 - ①利用者の皆さまと当組合の間の利益が相反する類型
(例：経済事業を利用する際の前提として、共済事業の利用を条件とする場合)
 - ②特定の利用者の利益を他の・利用者の皆さまの利益より優先する取引
(例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合)

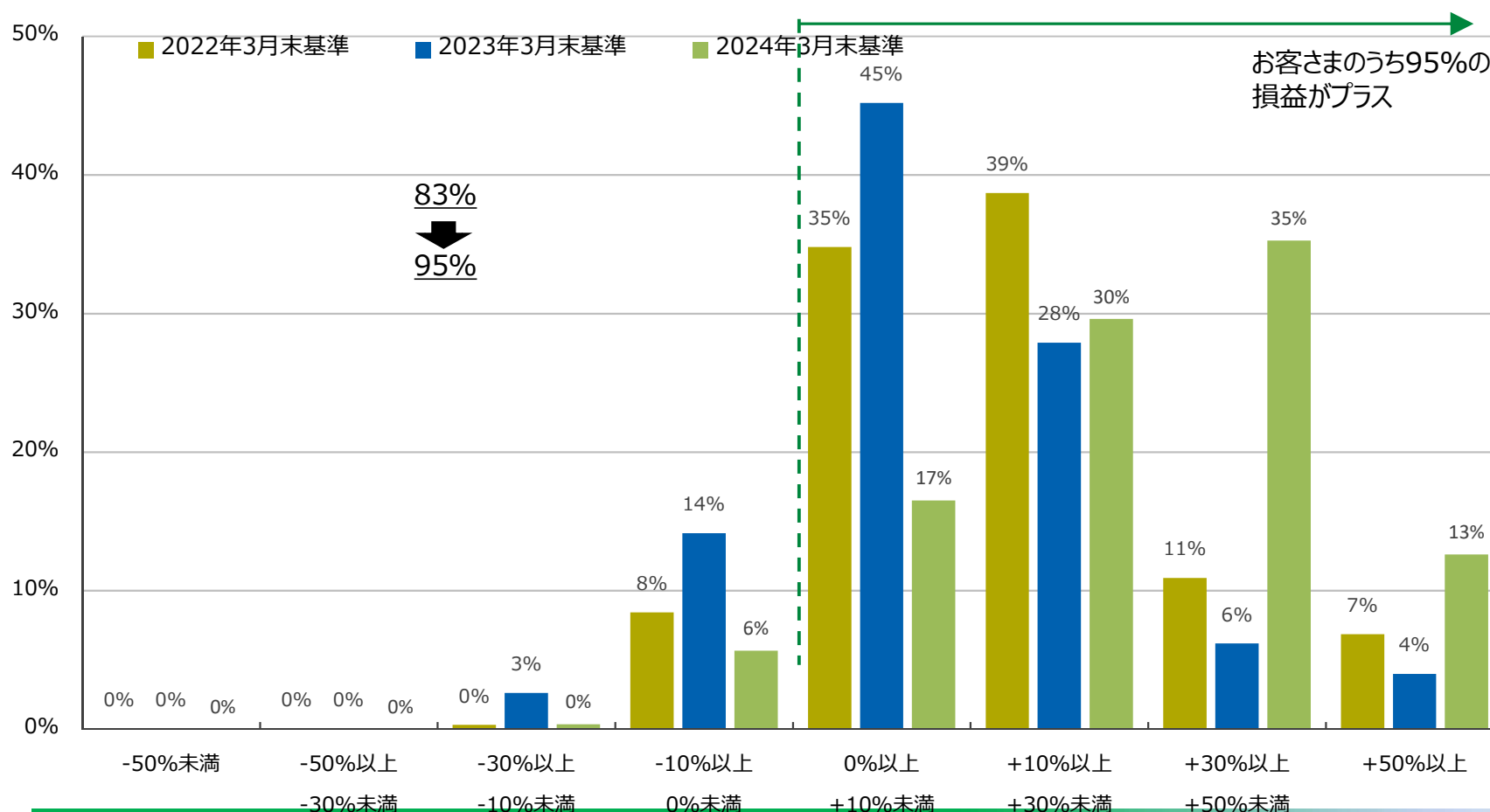
4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)原則7本文および(注)】

- JAバンクでは、研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。
 - ① **お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築**
 - 当組合は、渉外担当者、窓口担当者への指導、育成等を担う各統括担当者を配置し、随時会議体等において指導、育成等を実施いたします。[積極的に証券外務員試験(2種・1種・内部管理者)の資格取得を実施し]お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。
 - 系統内および外部研修を推進し積極的な受講により、金融商品の仕組み等に係る理解を深めるよう努めます。
 - 渉外担当者を中心とした資産形成サポートプログラムを導入し人材育成に取り組んでおります
 - ② **お客さまの皆さまの声を活かした業務改善**
 - お客さまからの要望により運用会社を講師に資産運用セミナーを開催いたしました。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

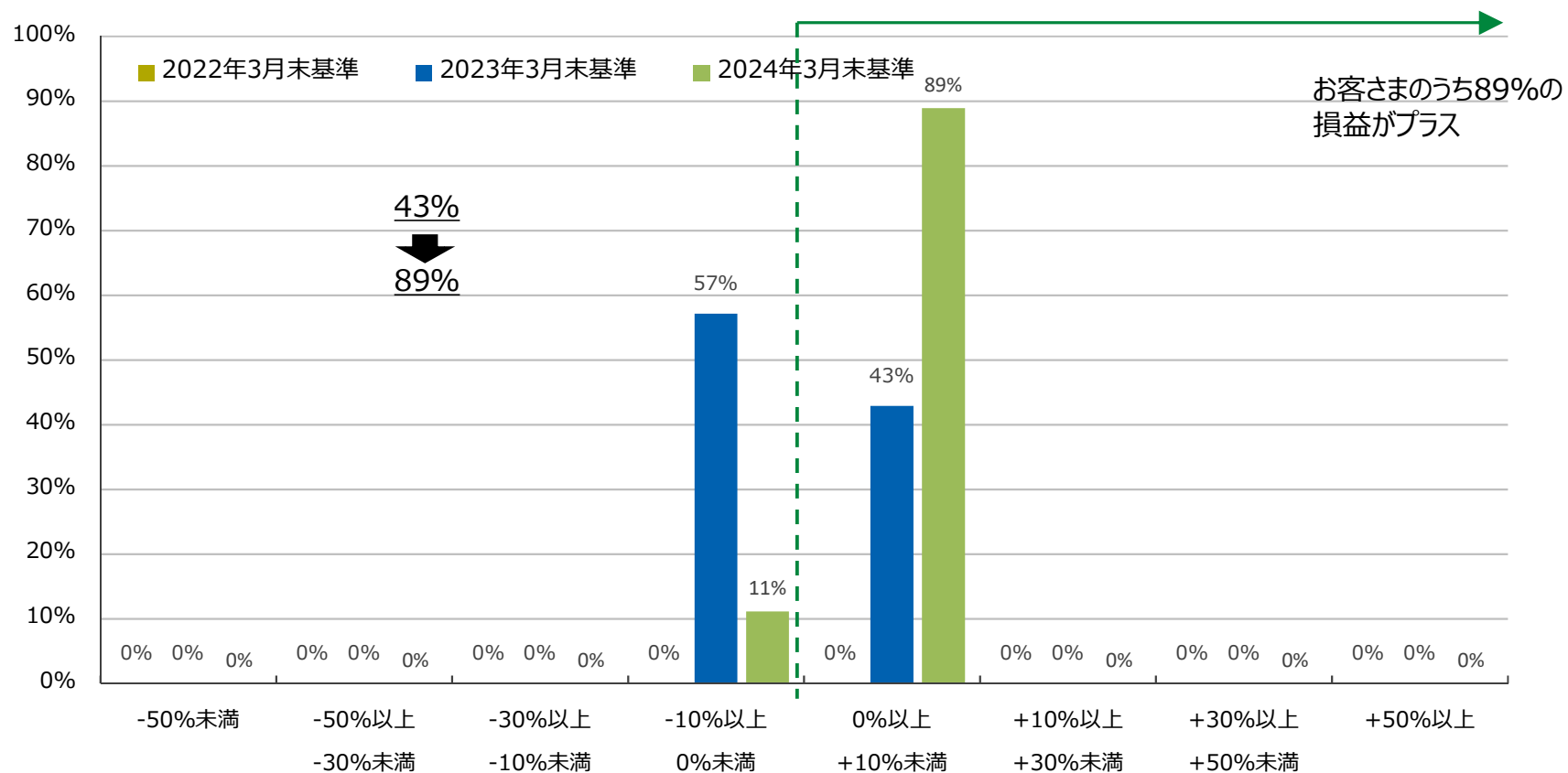
- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の95%のお客さまの損益がプラスとなりました。



Ⅱ.比較可能な共通KPI

1 運用損益別顧客比率（ファンドラップ）

- 2022年4月より取扱いを開始しておりますJAバンク資産運用サービス（ファンドラップ）の「運用損益別顧客比率」は、2024年3月末時点で全体の89%のの皆様の損益がプラスとなりました。
- 継続的なアフターフォローにより、お客様の目標達成に向けて丁寧な説明、必要なサポートを実施しております。



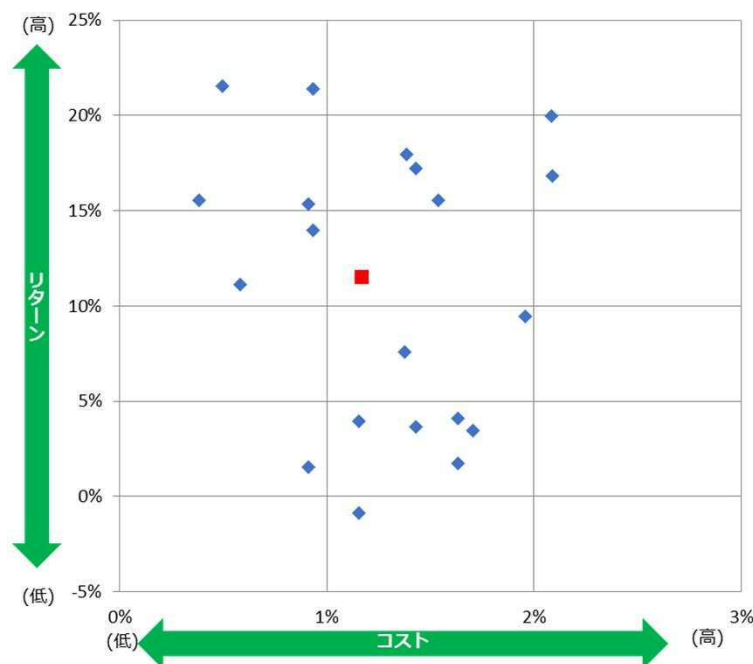
※2022年度取扱開始のため2022年3月末実績はございません

Ⅱ.比較可能な共通K P I

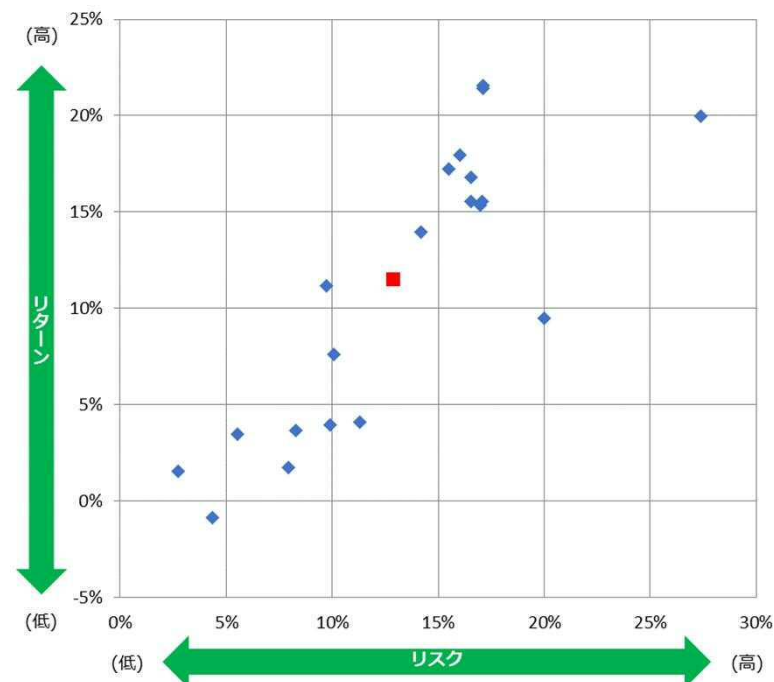
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.17%、平均リスク12.86%に対して、平均リターンは11.50%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



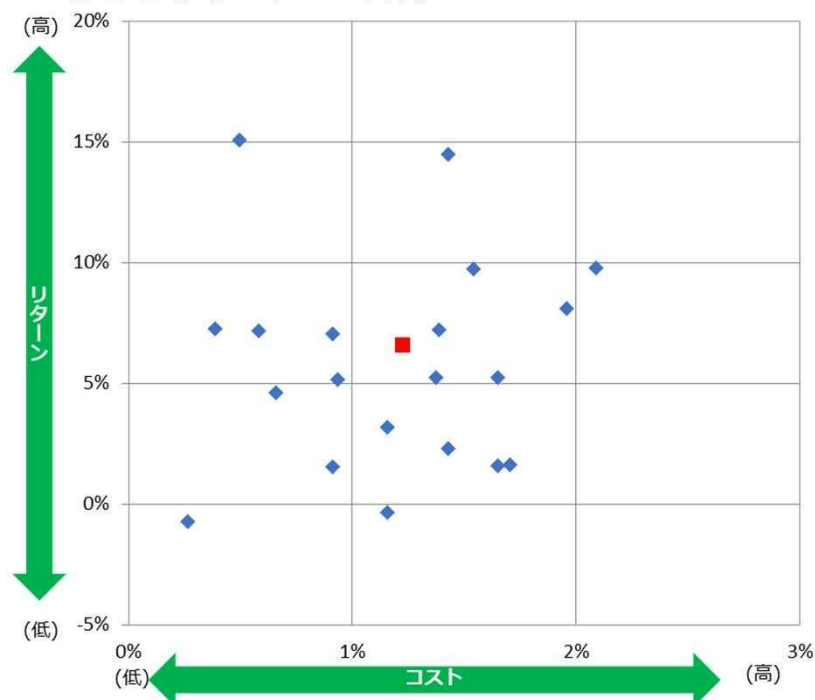
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

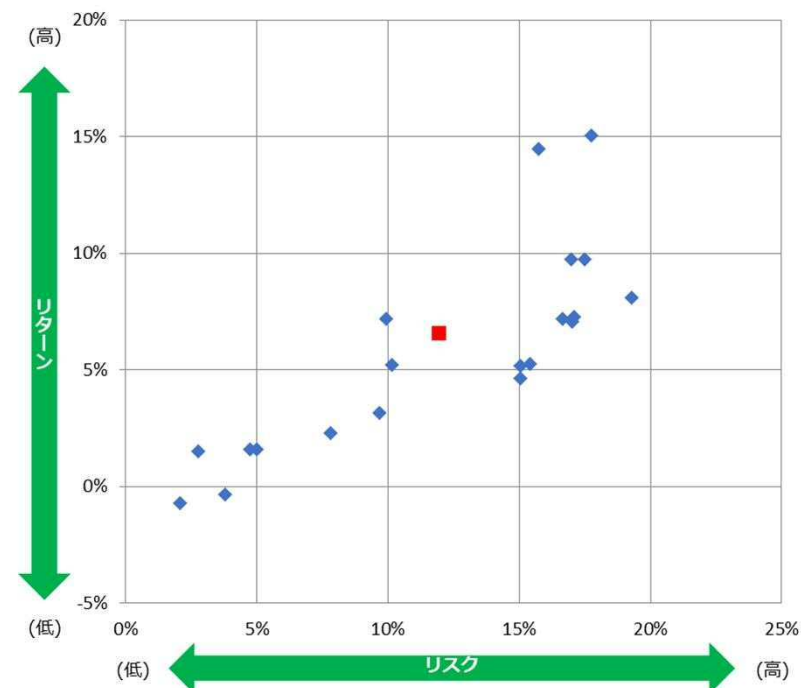
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.22%、平均リスク11.93%に対して、平均リターンは6.57%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



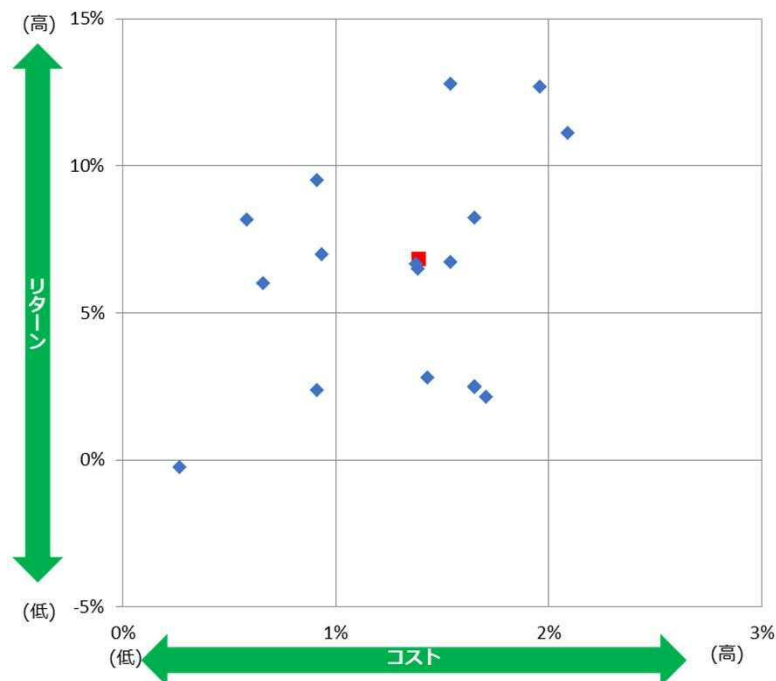
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

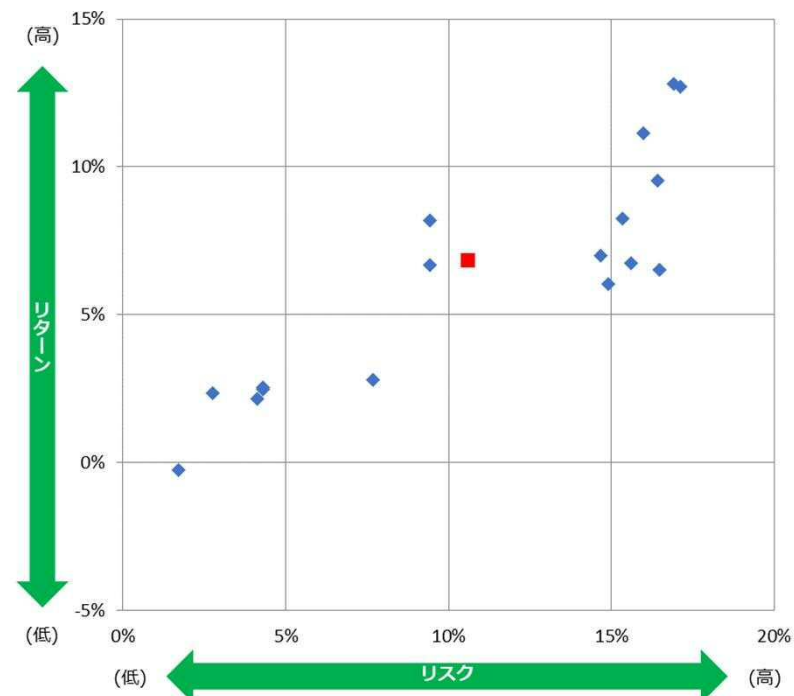
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.39%、平均リスク10.59%に対して、平均リターンは6.83%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	7.59%	10.06%	1.38%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
3	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	3.64%	8.31%	1.43%
4	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
6	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
7	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
8	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
9	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	9.47%	20.01%	1.96%
10	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
11	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
12	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
13	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
14	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
15	NZAM日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.95%	16.04%	1.39%
16	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
17	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	16.82%	16.55%	2.09%
18	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
19	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJアセットマネジメント(株)	3.47%	5.52%	1.71%
20	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.95%	14.20%	0.94%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		11.50%	12.86%	1.17%

※ 2024年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.23%	10.14%	1.38%
2	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.31%	7.81%	1.43%
3	つみたてN I S A米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
6	ダイワ・グローバルR E I T・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.09%	19.30%	1.96%
7	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
8	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
10	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
11	N Z A M日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.20%	16.67%	1.39%
12	つみたてN I S A日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
13	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.76%	0.91%
14	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信(株)	1.60%	4.75%	1.71%
15	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.17%	15.06%	0.94%
16	J A 海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.76%	16.99%	2.09%
17	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
18	J - R E I Tインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.62%	15.04%	0.66%
19	J A 海外債券ファンド(隔月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	1.59%	5.00%	1.65%
20	J A 日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.24%	15.43%	1.65%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.57%	11.93%	1.22%

※ 2023年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
2	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.80%	7.69%	1.43%
3	ダイワ・グローバルR E I T・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
4	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
7	N Z A M日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	6.52%	16.48%	1.39%
8	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信(株)	2.16%	4.12%	1.71%
9	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	2.36%	2.76%	0.91%
10	J A 海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	11.13%	15.98%	2.09%
11	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.00%	14.67%	0.94%
12	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.26%	1.70%	0.26%
13	J - R E I Tインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	6.02%	14.90%	0.66%
14	J A 海外債券ファンド(隔月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.49%	4.29%	1.65%
15	J A 日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	8.25%	15.35%	1.65%
16	D I A M世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	6.73%	15.61%	1.54%
17	J A 海外債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.52%	4.31%	1.65%
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.83%	10.59%	1.39%

※ 2022年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は17本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。